

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	小武 裕	詳説日本史（山川出版社） 新編史料日本史（東京法令出版） 新詳日本史（浜島書店）
必履修		
学校必履修		
○必修選択		
○自由選択		

## ◆学習の目標

主に戦後史に関する講義及び近代史の問題演習を通じて、大学受験に必要な力を養成する。

## ◆主な学習内容・方法

<内容>

1 学期 戦後史の講義 2 学期 幕末～終戦まで近代史の問題演習

※4 単位の日本史探究の進行状況によっては 2 学期に江戸時代の産業・社会史を扱うこともある。

<方法>

教科書や資（史）料の分析及び読解に基づく考察を交えながら、講義と問題演習を行う。

## ◆到達目標と評価の観点

〔標準〕

- ・戦後史の歴史的諸事象の内容を正確に理解し、時系列上での的確に把握する。
- ・事象の内容や事象間の因果関係を的確・簡潔に表現する。

〔応用〕

- ・政治経済や歴史総合で学んだ内容も活用しながら、問いに対して、適切に表現できる力を養い、難関国立大学 2 次試験に対応可能な学力を身に付ける。

〔評価の観点〕

○知識・技能

近現代の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

○思考・判断・表現

近現代の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

○主体的に学習に取り組む態度

近現代の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## ◆評価の方法

主に定期考査（論述・正誤問題は必出）によって評価し、学力テストや平常の授業、提出課題への取り組みを加味して、総合的に評価する。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期（26時間）	2学期（28時間）	3学期（16時間）
------	------	-----------	-----------	-----------

## ◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・予習の段階では、教科書を通読し、歴史の流れの大筋をつかんでおく。復習では、授業の内容を整理し、論述に対応できるよう、文章で表現できるようにしておく。
- ・適宜、問題練習を行い、理解度を把握する。

## ◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元 ごとの 時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	第16章 占領と改革	6	戦後世界秩序の形成 初期の占領政策 民主化政策 政党政治の復活 日本国憲法の制定 生活の混乱と大衆運動の高揚 冷戦体制の形成と東アジア 占領政策の転換 朝鮮戦争と日本講和と安保条約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期占領政策によって経済構造はどのように変革されたかを考察し、簡潔に表現できる。</li> <li>・日本が独立を果たした国際的要因及びその後の日米安保体制のあり様を考察し、簡潔に表現できる。</li> <li>・朝鮮戦争の勃発・休戦は、国内政治・経済・国際的地位にどのような影響を及ぼしたかを考察し、簡潔に表現できる。</li> <li>・1950年代半ばに高度経済成長が始まった要因、1930年代の成長との対比、国民生活の変化などについて考察し、簡潔に表現できる。</li> <li>・冷戦終結後の世界情勢、国内情勢及び諸課題について考察し、簡潔に表現できる。</li> </ul>
	5	第17章 高度成長の時代	4		
	6		6	冷戦構造の世界 独立回復後の国内再編 55年体制の成立 安保条約の改定 保守政権の安定 朝鮮特需と経済復興 高度経済成長 大衆消費社会の誕生 高度成長のひずみ	
	7	第18章 激動する世界と日本	4	ドル危機と石油危機 高度経済成長の終焉 経済大国の実現 バブル経済と市民生活 冷戦から内戦へ 55年体制の崩壊 平成不況下の日本経済 日本社会の混迷と諸課題	
2 学期	8	幕末～終戦までの復習を問題演習形式で進める。 ※4単位の日本史探究の進行状況によっては江戸時代の内容を扱う場合もある。	28	共通テスト及び一般入試、国公立2次試験に向けての問題演習	共通テストに必要な思考・判断力や国公立2次に向けた論述力を問題演習を通じて身に付ける。
	9				
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	入試問題演習	16	過去問演習	大学入試に備え、過去の入試問題の演習を通して、知識の整理と簡潔で論理的に論述する力を一層高める。
	2				
	3				